



2020年「タイヤ点検結果」の報告

一般社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 東正浩）は、警察、運輸支局、高速道路会社、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2020年（1月～12月）に全国で5回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べ点検回数及び点検台数が大幅に減少したため、対前年との比較を取り止め、2020年だけの報告とさせていただきます。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路（含、自動車専用道路）26台、一般道路180台の合計206台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要は、別表に示しました。

1. タイヤ点検の概要（表-1）

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両206台のうち、タイヤに整備不良があった車両は70台、不良率34.0%となっています。尚、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は42.3%、一般道路では32.8%という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年	2020年		
		高速道路	一般道路	合計
点検回数（回）		2	3	5
点検車両A（台）		26	180	206
タイヤ整備不良車両B（台）		11	59	70
不良率B/A（%）		42.3	32.8	34.0

注）不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

2. 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-2）

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不足」で28.2%、次いで「偏摩耗」4.9%、「タイヤ溝不足」1.5%の順となっています。

表－２ 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

年 区分 項目	2020年					
	高速道路		一般道路		合 計	
	件数	%	件数	%	件数	%
タイヤ溝不足	2	7.7	1	0.6	3	1.5
偏摩耗	2	7.7	8	4.4	10	4.9
外 傷	0	0.0	0	0.0	0	0.0
釘・異物踏み	0	0.0	2	1.1	2	1.0
空気圧不足	6	23.1	52	28.9	58	28.2
そ の 他	4	15.4	5	2.8	9	4.4
計	14	-	68	-	82	-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

注) 3. 不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

3. 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳(表－3)

タイヤの整備状況を車両グループ別に見ると、表－3の通り「乗用車」36.0%、「貨物車」23.8%が整備不良となっています。

「特種車」を含めた全体では、34.0%となっています。

表－3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種		点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)
乗 用 車	普通乗合(2)	0	0	0.0
	普通乗用(3)	41	15	36.6
	小型乗用(5.7)	63	27	42.9
	軽(5.7)	71	21	29.6
	小 計	175	63	36.0
貨 物 車	普通貨物(1)	4	1	25.0
	小型貨物(4)	9	1	11.1
	軽(4.6)	8	3	37.5
	小 計	21	5	23.8
特種(8)		10	2	20.0
合 計		206	70	34.0

注) 1. ()内数字は、車種ナンバーを示す。

注) 2. 不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-4）

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車「空気圧不足」32.0%、貨物車「偏摩耗」14.3%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷		釘・異物踏み		空気圧不足		そ の 他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	普通乗用(3)	1	2.4	2	4.9	0	0.0	0	0.0	11	26.8	5	12.2	19
	小型乗用(5.7)	0	0.0	2	3.2	0	0.0	0	0.0	26	41.3	3	4.8	31
	軽(5.7)	0	0.0	3	4.2	0	0.0	2	2.8	19	26.8	1	1.4	25
	小 計	1	0.6	7	4.0	0	0.0	2	1.1	56	32.0	9	5.1	75
貨物車	普通貨物(1)	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	小型貨物(4)	0	0.0	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	軽(4.6)	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	2	25.0	0	0.0	3
	小 計	0	0.0	3	14.3	0	0.0	0	0.0	2	9.5	0	0.0	5
特種(8)	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
合 計	3	1.5	10	4.9	0	0.0	2	1.0	58	28.2	9	4.4	82	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

注) 3. 不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不足」が28.2%と整備不良率でワースト1位となっています。

空気圧不足のタイヤで走行すると、燃費の悪化やタイヤ寿命の低下を招く他、バーストの危険性もあります。

当会では今後も引き続き、年間を通してのタイヤ点検実施等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先

技術部 : 柴田、西堀

電話 03-3435-9092

2020年（1-12月）路上タイヤ点検・車種別項目別結果

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳										計				
	車種No.					タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不足			その他			
	件数	不良率				件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		件数	不良率		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		普通乗用(3)	6	4	66.7	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	2	33.3	2	33.3	5		
		小型乗用(5.7)	5	4	80.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	80.0	2	40.0	6		
		軽(5.7)	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		計	12	8	66.7	0	0.0	1	8.3	0	0.0	0	0.0	6	50.0	4	33.3	11		
	貨物車	普通貨物(1)	3	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		小型貨物(4)	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		軽(4.6)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	4	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	2回	特種(8)	10	2	20.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
合計		26	11	42.3	2	7.7	2	7.7	0	0.0	0	0.0	6	23.1	4	15.4		14		
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	35	11	31.4	1	2.9	1	2.9	0	0.0	0	0.0	9	25.7	3	8.6		14	
		小型乗用(5.7)	58	23	39.7	0	0.0	2	3.4	0	0.0	0	0.0	22	37.9	1	1.7		25	
		軽(5.7)	70	21	30.0	0	0.0	3	4.3	0	0.0	2	2.9	19	27.1	1	1.4		25	
		計	163	55	33.7	1	0.6	6	3.7	0	0.0	2	1.2	50	30.7	5	3.1		64	
	貨物車	普通貨物(1)	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		小型貨物(4)	8	1	12.5	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		軽(4.6)	8	3	37.5	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	2	25.0	0	0.0		3	
		計	17	4	23.5	0	0.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	2	11.8	0	0.0		4	
	3回	特種(8)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計		180	59	32.8	1	0.6	8	4.4	0	0.0	2	1.1	52	28.9	5	2.8		68		
合 計	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	41	15	36.6	1	2.4	2	4.9	0	0.0	0	0.0	11	26.8	5	12.2		19	
		小型乗用(5.7)	63	27	42.9	0	0.0	2	3.2	0	0.0	0	0.0	26	41.3	3	4.8		31	
		軽(5.7)	71	21	29.6	0	0.0	3	4.2	0	0.0	2	2.8	19	26.8	1	1.4		25	
		計	175	63	36.0	1	0.6	7	4.0	0	0.0	2	1.1	56	32.0	9	5.1		75	
	貨物車	普通貨物(1)	4	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		小型貨物(4)	9	1	11.1	0	0.0	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		軽(4.6)	8	3	37.5	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	2	25.0	0	0.0		3	
		計	21	5	23.8	0	0.0	3	14.3	0	0.0	0	0.0	2	9.5	0	0.0		5	
	5回	特種(8)	10	2	20.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
合計		206	70	34.0	3	1.5	10	4.9	0	0.0	2	1.0	58	28.2	9	4.4		82		

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
 2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100(小数点以下第2位を四捨五入。)
 3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。
 4. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。